

# 佐伯史談会二十年の足跡

当日  
総会の席上  
使用、再録

史談会以来のよう成長を続けて来ました。  
その主なものを拾いあげて見ました。

⑤ 昭和37年度	④ 昭和36年度	③ 昭和35年度	② 昭和34年度	昭和33年度
41名/	18名/	10名/ 5,109円	14名/ 8,000円	17名/ 予集 6,387円
<p>一月 第二回 臼井市古跡めぐり(下北津留方面)                  会員 同好者と訪ねたり誘つたりして、先輩に教えを乞ふたり、資料の交換をとりたり。                  (※ 予算額記入なきは、すべてその記録なし)</p>	<p>七月 青山地區最初の史跡めぐり                  (機関誌「御土史研究」は、この年八月第二十二号をもって終り、以後 全く発行休止、必要に於てハが年外と用ひ、)</p>	<p>二月 機関誌「御土史研究」第二号を復活発行す                  二月 機関誌「御土史研究」第二号を復活発行す                  二月 青山地區最初の史跡めぐり                  (機関誌「御土史研究」は、この年八月第二十二号をもって終り、以後 全く発行休止、必要に於てハが年外と用ひ、)</p>	<p>「榊牟礼実録」平日及び日曜に渡り発行する 二月 高畑を集会                  三月 西上浦探訪、上杉家集會 四月 直井赤木を歩く                  七月 大入島に木下神の井と左守叔山道を日向泊まで歩く                  九月 臼井市の古跡を歩く 昨年九月改題、機関誌「御土史研究」は、この年外と用ひ、</p>	<p>三月十六日 佐伯史談会総会(会長 森田勝実)                  四月 「御土史」第一号発行 四月 鶴岡会員 榊牟礼城址に登る                  五月 鶴岡御土研究会会合、同 山際土屋邸初集會                  この年夏から秋にかけて、切畑、上野、下飯田とよく歩く</p>

⑦ 昭和43年度	⑥ 昭和42年度	⑤ 昭和41年度	④ 昭和40年度	③ 昭和39年度	② 昭和38年度
23名/ 149,539円	19名/	17名/	12名/	87名/ 増 6,702円	77名/
<p>一月 鶴岡三上幸探訪、同 香出洲古戦場踏査                  三月 史談会、発定十周年記念集會、青木権比古百周年資料展、                  同 日向路、バスで、西都原古墳見學、五月 藩戸海岸へ                  七月 鶴岡浦一畑野浦探訪研究会、内町井上家訪問史談会                  十一月 大野邸の史跡を訪ねて、神角寺に登る。</p>	<p>一月 城山の一 corner 探訪を採る 二月 木立とあちこち自乗車で、                  六月 鶴岡史談会 堅田菅一郎先生方で、八月 堅田河江へ、                  九月 臼井市の文化財を訪ねて、十一月 陸地味古古戦場に、                  十一月 文化功労者として佐伯史談会 佐伯市長より表彰される</p>	<p>一月 堅田めぐり、榊牟礼城址に登る 二月 直川行き                  三月 刀剣と茶会(八瀬家) 四月 西上浦を探訪する                  八月 米水津村宮野浦探訪 九月 宇月崎へ                  十一月 また直川村へ(自乗車で、バスで、せきりに歩く)</p>	<p>一月 「佐伯史談」第一号発行(機関誌として復活改題)                  四月 大分から野津へ歩く 五月 北市尾一尾高知へ(二月二日)                  六月 堅田定田泉先生方訪問史談会 七月 常盤井路の現                  十一月 明治教室百年祭、遺墨展 地学研究会 (切畑)</p>	<p>一月 号外を出している。休養機関誌日休中止                  二月 村井、羽塚探訪、「朝日新聞」機関誌印刷発行                  八月 因民井、内藤師庵へ                  十月 三重新内山観音参拝</p>	<p>五月 堅田邸第四回史跡めぐり                  (眠ったような史談会、しかし前年ごろから会員がふえはじめた)</p>

⑬ 昭和 48 年度	⑭ 昭和 47 年度	⑮ 昭和 46 年度	⑯ 昭和 45 年度	⑰ 昭和 44 年度
360% / 268,081円	333% / 257,120円	306% / 291,716円	289% / 243,992円	259% / 185,783円
<p>二月 平田先生に御茶を添ふ 三月 青山へ、黒沢集會 五月 蒲江町降島探訪 四月 城南河野歌集會 (東光庵) 八月 「佐伯志」複製書刊佐藤鶴谷遺傳集會(瀬谷寺) 九月 直川村赤木・仁田原・藤川川岸歩き 十月 鏡峠一彦岳へ 十一月 四國一周(高知・香川・愛媛) バス旅行</p>	<p>一月 娘岳に登り東神野を歩く、同月 元越山に登る 五月 佩摘山に登る 八月 休生町上野を歩き、合口集會 九月 穴所・飯頭町生帯會 (文化会館) 十月 畑野南史談會を迎へ見送茶会 十月 宇目町の古跡巡り 十二月 妹生町川中渡谷探訪</p>	<p>一月初歩、橋山登山 一月 直川村白原榎井家集會 津久見・臼杵・野津へ研修バスの旅 三月 東光庵観櫻 四月 大分林原社参拝 五月 高崎山城址探訪 七月 「佐伯秘鏡録」複製出版、西貢東一宇故へバス研修 九月 聖敷洞穴に入る 十一月 郷土史博遺墨展(文化会館)</p>	<p>一月初歩き尺刺登山 二月 三重史談會を迎へ交歓研修會 三月 因良探訪(井上穴田・堂・間) 十一月 佐伯氏の位 三月 直川から小川鉦子淵・小羊鐘乳洞へ 陣新編・佐藤 七月 日田・中津(二泊三日)バス旅行 九月 辰高知神社へ 十一月 宇佐神宮・善光寺へ研修バス旅行</p>	<p>一月初歩き城山から白浮道跡へ 三月 竹田・高千穂 四月 大分市へ、月分寺跡等見学 五月 直川へ(瀬川・赤木) 五月 佐賀湾一泊(蒲戸沖・水子燈台・大島・根岸・丹波) 七月 宇目町北川ダム・藤河内段谷へ 七月 小川鉦子淵へ 十一月 國東半島文化村巡り(西部半島)</p>

⑱ 昭和 53 年度	⑲ 昭和 52 年度	⑳ 昭和 51 年度	㉑ 昭和 50 年度	㉒ 昭和 49 年度
472% / 835,734円	466% / 730,788円	442% / 690,230円	412% / 474,002円	387% / 404,639円
<p>一月初歩き津久見市大友宗麟の墓所へ、月夜村崎を歩く 二月 富田寺(宇佐野遺跡)に黒木徳仁郎の彫刻を見る 同 梅架礼城の杖笥と小田山山頂の踏査 三月 終焉二十周年の記念行事進行中</p>	<p>四月 猪方氏の史跡をたずねて猪方町及び竹田町神戸にバスで 七月 城下町見学に竹葉市・日出町に行く 九月 拓水講習会主催 十一月 毛利高政公五〇年祭行事、惟忠公四五〇年祭慕慕(バス) 同 西北九州歴史の旅(二泊三日、バス使用)</p>	<p>一月初歩き梅架礼城址に登る 三月 龍護寺修築協力 四月 三國峠・皮山観音・菅生・七銅・臼杵とバスで石仏を巡る 六月 「梅架礼城址」の建碑完成 八月 宇目町水子谷へ 九月 佐伯招魂所墓前慰霊祭 十一月 ふるさと御茶展 十一月 松山・大島・広島・二泊三日バスによる研修旅行</p>	<p>二月 飯伯地区社会教育連協より功勞関係として茶回表贈り 一月初歩き梅架礼城址に登る 三月 龍護寺修築協力 四月 三國峠・皮山観音・菅生・七銅・臼杵とバスで石仏を巡る 六月 「梅架礼城址」第一〇〇号達成 七月 益田家訪問集會 八月 米水津湾開遊、沖墨高の自然を探る 九月 千束集見学 十一月 北九州一周二泊三日バスによる研修旅行</p>	<p>一月初歩き左間ヶ岳登山 二月 直川村源六原に土倉を掘る 三月 黒沢ダム見学・東光庵観櫻 五月 保戸島探訪 全春終焉二十周年の記念行事進行中、十一月九日増刊保存會が 同十八日佐伯史談會が「ふるさと七分」大分県知事表彰 十一月 國東半島文化史をたずねて二泊三日研修旅行(バス)</p>

※このようにして我が史談會は、第二十二年目に入り、今年度の研修活動ととり組んでいる。(田原編)